

ST 12154-2

## 2 機械の主要数値，電気品，付属品

## 2.1 機械の主要数値

## 2.1.1 機械本体

		単位	BT-10B(P2)	BT-10B(R3)
主 軸 の 直 径		mm	100	
主 軸 端 の テ ー バ 穴			MT#6 (ISO #50)	
フライス軸軸端部の直径(工具取付部)		mm	225	
主 軸 の く り 出 し 長 さ		mm	710	
主 軸 頭 の 上 下 最 大 移 動 距 離		mm	1500	1450
フ ラ イ ス 軸 端 面 と ア ウ タ ー サ ポ ー ト 間 の 距 離		mm	2850	
テ ー ブ ル ( サ ド ル ) の 左 右 最 大 移 動 距 離		mm	1600	1450
テ ー ブ ル の 前 後 最 大 移 動 距 離		mm	1800	
テ ー ブ ル 作 業 面 の 大 き さ		mm	1250×2000	1400×1600
テ ー ブ ル 上 積 載 最 大 許 容 荷 重		Kg	8000	6300
主 軸 お よ び フ ラ イ ス 軸 回 転 速 度 (16段)	高 速 形	高 速 レ ン ジ	r.p.m	90 ~ 1000
		低 速 レ ン ジ	r.p.m	20 ~ 224
	中 速 形	高 速 レ ン ジ	r.p.m	63 ~ 710
		低 速 レ ン ジ	r.p.m	14 ~ 160
	低 速 形	高 速 レ ン ジ	r.p.m	45 ~ 500
		低 速 レ ン ジ	r.p.m	10 ~ 112
送 り 量 (24段)		高 速 レ ン ジ (12段)	mm/rev	0.022 ~ 3.6...
		低 速 レ ン ジ (12段)	mm/rev	0.1 ~ 16
早 送 り 速 度		mm/min	3200	
ロ ー タ リ テ ー ブ ル 早 旋 回		r.p.m	—	0.75
機 械 の 高 さ		mm	3300	
所 要 床 面 積		mm	4500×5400	4500×5400
機 械 の 重 量 (自 動 工 具 着 脱 装 置 付 の 場 合 400Kg 増 加 し ます。)		Kg	17500	18500

ST 12154-1

## 2.1.2 電気品

電 源 AC 200V 50Hz  
220V 60Hz

制御電圧 AC 100V 50/60Hz (トランス内蔵)

許容電源電圧変動範囲 ±10%

(1) 主電動機 / 台

防滴形三相誘導電動機 AC 6P 11KW 30分定格

(2) 同上用制御用品一式 / 台

## 2.2 標準付属品

(1) 電気品一式 / 組

(2) 光学式読取装置 (カウンタ式 最小目盛 0.005mm) / 組

主軸頭上下移動用一式

テーブル前後移動用一式

サポートブロック上下移動用一式

(アウターサポートのない場合には付属しません)

(3) テーブル割り出し用光学読取り装置一式 / 組

(90°ごと割り出し用R形テーブルのみに付属します)

(4) モールステーバシヤック用抜止め、抜出し工具一式 / 組

(5) 特殊分解結合および操作用工具一式 / 組

(6) すえつけ用部品一式 / 組

## 2.3 特別付属品

(1) 照明装置

(2) 自動工具着脱装置 ISO 650 (電動機 AC 4P, 1.5KW連続)

(3) 鋼板製スベリ面カバー

## 3. 機械のすえつけ

## 3.1 / 基礎

## 3.1.1 / 基礎の位置

- (1) 基礎の位置を選定する際には、直射日光や熱風、通風などを多くうけて温度変化がはげしい場所や、ちり、ほこりなどの多いところはさけてください。また振動の少ないところを選ぶことが必要ですが、やむをえないときは周囲の振動が機械に影響を与えないように防振みぞを設けるなどの配慮が必要です。
- (2) 本機の基礎には付図 S-61899 の基礎図に示す数値以上の地耐力を必要とします。
- (3) 本機を設備する建家には下表に示す能力を持つクレーン設備が必要です。ころ引きの場合はこの限りではありません。
- (4) クレーン走行位置と基礎位置の関係も検討が必要です。

機種 項目	BT-10B(R1)	BT-10B(P1)	BT-10B(S(R1)) BT-10B(S.P)	BT-10B(P2)	BT-10B(R3)
つり上げ荷重 (Kg)	15500 以上	15000 以上	14000 以上 1350以上	17500 以上 18000	18500 以上
つり上げ高さ (m)	4 以上 (4.5 以上)				

(注) 自動工具着脱装置付の場合は400Kg増加します。

## 3.1.2 基礎の施行および検査

- (1) 基礎完成から機械のすえつけ開始までには、少なくとも2ヶ月間をおくことが理想的です。
- (2) 基礎の完成後は必ずけびきをして、基礎各部の寸法を基礎図面と照合して調査してください。
- 特に御依頼があれば当社にて基礎調査を行ないます。